



2025 年 6 月 2 日

マツダ、低炭素ガソリン燃料を使用した車両で実証走行 -スーパー耐久シリーズ参戦を通じて、クルマと燃料、All Japan での“共挑”-

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、「ENEOS スーパー耐久シリーズ 2025 年 Empowered by BRIDGESTONE」に参戦する「MAZDA SPIRIT RACING RS FUTURE CONCEPT(12 号車)」に、ENEOS 株式会社(以下、ENEOS)が製造した「低炭素ガソリン(E20)」燃料を使用することを発表し、5 月 30 日から 6 月 1 日にかけて行われた、第 3 戦 富士 24 時間レースで実証走行しました。



"共挑"記者会見



「MAZDA SPIRIT RACING RS FUTURE CONCEPT(12 号車)」

「低炭素ガソリン(E20)」は、ガソリンにバイオエタノールを約 20%混合した低炭素燃料です。海外では 10%程度の混合燃料が普及しつつある状況において、20%の混合燃料の供給に向けて国内外での先行事例が求められています。

モータースポーツという厳しい使用環境において、マツダは「低炭素ガソリン(E20)」燃料を使用・評価し、ENEOS や参画する自動車メーカーと知見や課題を共有していきます。カーボンニュートラル社会の実現に向けて、想いをともにする ENEOS と自動車メーカーの All Japan で“共挑”^{*1}しながら「クルマと燃料を鍛える」ことで、低炭素燃料の普及に貢献したいと考えています。

マツダは、マルチソリューション戦略のもと、将来に向けて多様な燃料に対応できる電動化時代の内燃機関の進化に挑戦し、お客さまに多様な選択肢をお届けする技術開発に取り組んでいます。

マツダは、今後も「ひと中心」の価値観のもと「走る歓び」を進化させ続け、お客さまの日常に移動体験の感動を創造し、「生きる歓び」をお届けしていくことを目指していきます。

^{*}STMO:一般社団法人スーパー耐久未来機構。

^{*1}:カーボンニュートラル社会の実現に向けて、ST-Q クラスに参戦する自動車メーカー 5 社が想いを共有すること。

以上